

株主のみなさまへ

持株会社体制への移行について

目次

1	持株会社移行の理由と目的	1
2	目指すべき姿	2
3	持株会社における経営理念①	3
4	持株会社における経営理念②	4
5	コーポレートマークについて	5
6	持株会社の概要	6
7	持株会社の経営体制	7
8	グループストラクチャー (持株会社移行の流れ)	8
9	持株会社における ビジネスモデル(ベース)	9
10	持株会社における ビジネスモデル(新たな価値創造)	10

PEOPLE'S BANK

① 沖縄銀行

証券コード：8397

持株会社移行の理由と目的

- 目まぐるしく変化する社会構造の変化に適応するため、10年後をフォーカスティングした体制を構築します。
- 地域社会と共に未来を創造し、「総合金融サービスグループ」から地域に根ざした「金融をコアとする総合サービスグループ」となることで、地域の課題を非金融サービスを含めた総合サービスで解決し、地域社会の価値向上と持株会社グループの持続的成長を目指します。

事業領域の拡大

地域社会の多様化・複雑化する課題を解決するために、事業領域を拡大することで、グループシナジーの更なる強化を図る。

収益源の多様化

マイナス金利、異業種の参入など地域金融機関を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、組織構造を変化させ適応することで、将来の収益確保を図る。

ガバナンスの強化

持株会社体制（グループガバナンスの強化）とすることで、地域社会と持株会社グループの持続的な成長・発展を目指す。

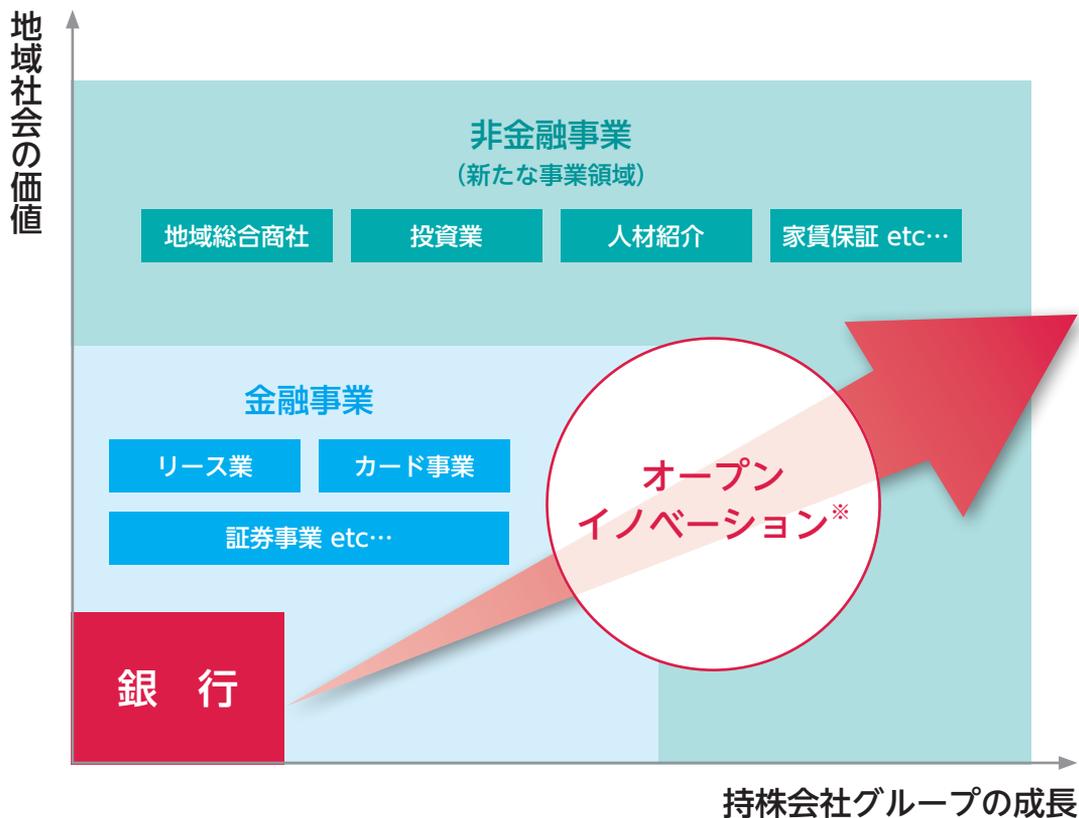
経営資源の配分

グループにおける重複業務の洗い出しを行い、経営資源の配分を行うことで、戦略的な投資を目指していく。



目指すべき姿

- オープンイノベーションによる金融事業領域と非金融事業領域の融合を図り、マーケットインに基づくビジネスモデルへ更に進化することで、金融をコアとする総合サービスグループとして、地域社会と持株会社グループの価値を共創してまいります。



※オープンイノベーションとは、自社の保有する内部リソースと外部企業が持つ革新的なアイデアや技術、専門的知見といった外部リソースを組み合わせることにより、新たな競争力や付加価値を生み出そうとすること。

持株会社における経営理念 ①

- 持株会社では、グループ経営理念に持株会社グループがステークホルダーに対し果たすべきミッションを掲げ、目指すべき姿であるビジョン、すべての役職員が共有すべき価値観である「Three Values」と併せ、おきなわフィナンシャルグループの理念を制定します。

■ グループ経営理念（ミッション）

地域密着・地域貢献

おきなわフィナンシャルグループは地域に密着することで、地域社会の価値向上（持続可能な社会的価値を創造、暮らしの充実と県民所得の向上）を図り、共に持続的に成長し、地域貢献を果たしていくことを使命（ミッション）とします。

■ ビジョン（持株会社グループの目指すべき姿）

金融と非金融の事業領域でお客さまをサポートをすることで、カスタマー・エクスペリエンスを実現し、地域とともに成長する金融をコアとする総合サービスグループ

■ 行動規範(バリュー：価値判断)：Three Values

感動 Impress

地域社会に新たな価値を提供し、あなたの感動をいちばんに考動します。

創造 Create

お客さま起点で最良のサービスを提供し、情熱と新たな発想で未来を創造します。

挑戦 Challenge

お客さまへ新たな事業領域の提供に向け、創意と進取の精神で挑戦します。

持株会社における経営理念 ②

- 持株会社では、おきなわへの想いをひとつにするため、持株会社体制への移行にともない、新たにグループのブランドスローガンを制定します。

ブランドスローガン

Create Value & Innovation

～おきなわの“新しい”をともに創る。～

新たな発想で未来をデザインし、おきなわの“新しい”をお客さまと共創する

スローガンに込めた想い

事業環境が変わり、変化に適応していく中においても、わたしたちは沖縄銀行創業以来、受け継いできた変わらない価値観があります。

お客さまへ寄り添いたい、期待に応えたい、地域社会の価値向上に全力を尽くしたい。その価値観をもって、新たな発想とともに挑戦することをお約束します。

「Create Value & Innovation ～ おきなわの“新しい”をともに創る」は、お客さま、地域に対して“新しい”を共創し、より視野を拡げながら地域の皆さま、企業の未来を切り拓く存在となることを目指します。

コーポレートマークについて

社名

おきなわフィナンシャルグループ

おきなわフィナンシャルグループは、地域に根ざした金融をコアとする総合サービスグループとして、人、企業、地域をつなぎ、おきなわの“新しい”をお客さまとともに創り、地域社会の価値向上と持続可能な未来の創造に貢献します。

ロゴ



ロゴに込めた思い

グループシンボルは、Okinawa Financial Groupの頭文字「OFG」を、沖縄の海や波、吹き抜ける風から着想したウェーブエレメントがつなぐデザインです。グループの連帯感、人や企業、地域社会の絆、世界とのつながりの中で、おきなわの“新しい”をお客さまとともに創っていく、という私たちの決意を表しています。

また、新生グループを象徴する爽やかなブルー、軽やかな書体デザインは、親しみやすさと進歩的な印象を併せ持つグループの在り方を表しています。

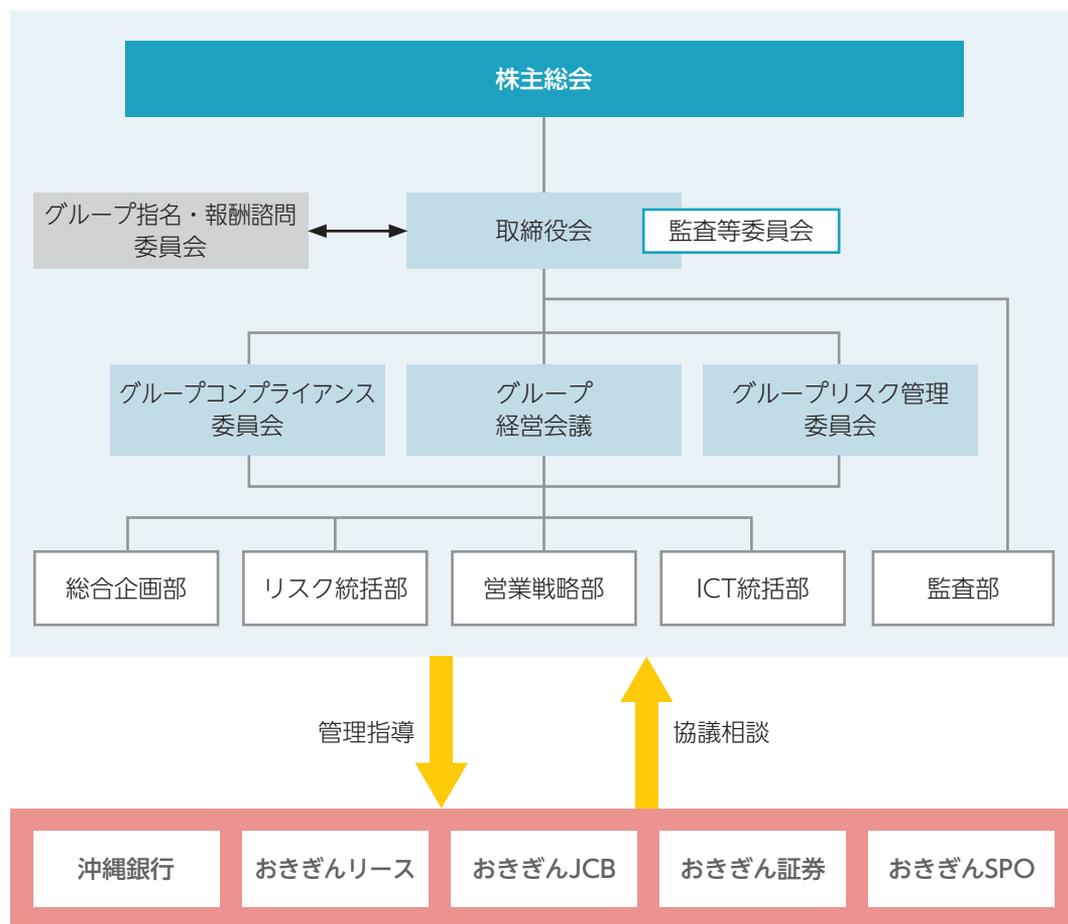
持株会社の概要

株式会社おきなわフィナンシャルグループ (Okinawa Financial Group, Inc.)

1. 本店所在地	沖縄県那覇市久茂地三丁目10番1号
2. 代表者	代表取締役会長 玉城義昭（現 沖縄銀行 代表取締役会長） 代表取締役社長 山城正保（現 沖縄銀行 代表取締役頭取）
3. 事業内容	・ 銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の業務 ・ 前号の業務のほか銀行法により銀行持株会社が行うことができる業務
4. 資本金	200億円
5. 設立年月日	2021年10月1日
6. 決算月	3月31日
7. 上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、福岡証券取引所本則市場
8. 単元株式数	100株

持株会社の経営体制

- 持株会社によるガバナンスの強化に加え、業務執行の権限委譲により、迅速な意思決定と効率的な業務運営態勢を構築してまいります。
- 持株会社はグループ経営に関する管理・監督に特化することで、グループ総合力の強化を図ってまいります。



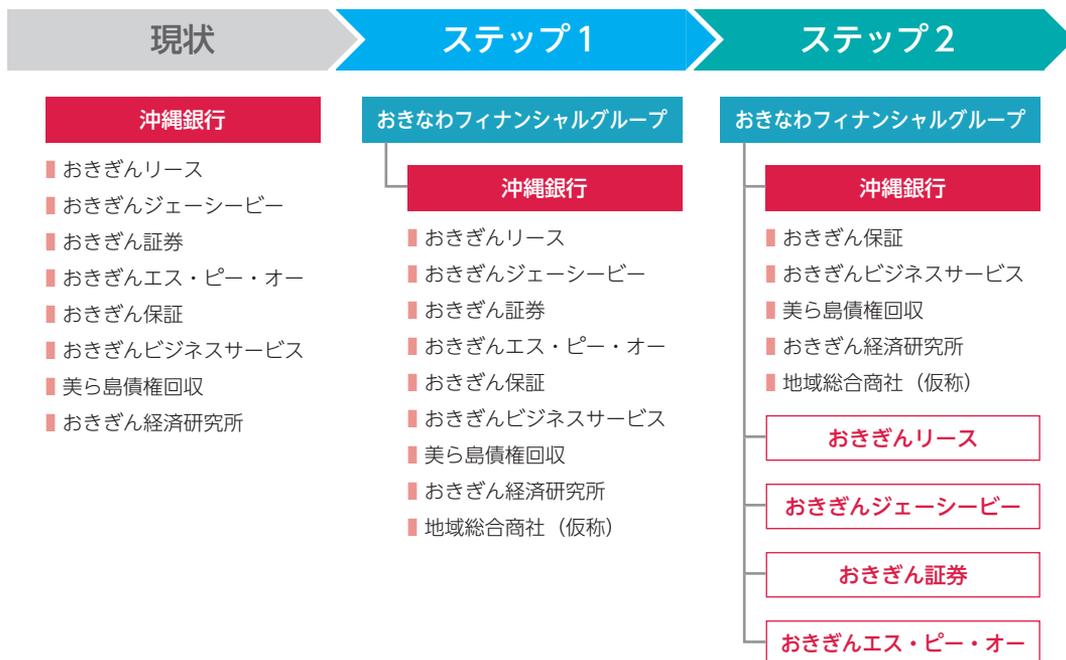
グループストラクチャー（持株会社移行の流れ）

ステップ1

2021年10月1日を効力発生日として、当行単独による株式移転により持株会社を設立することで、当行は、持株会社の完全子会社となります。

ステップ2

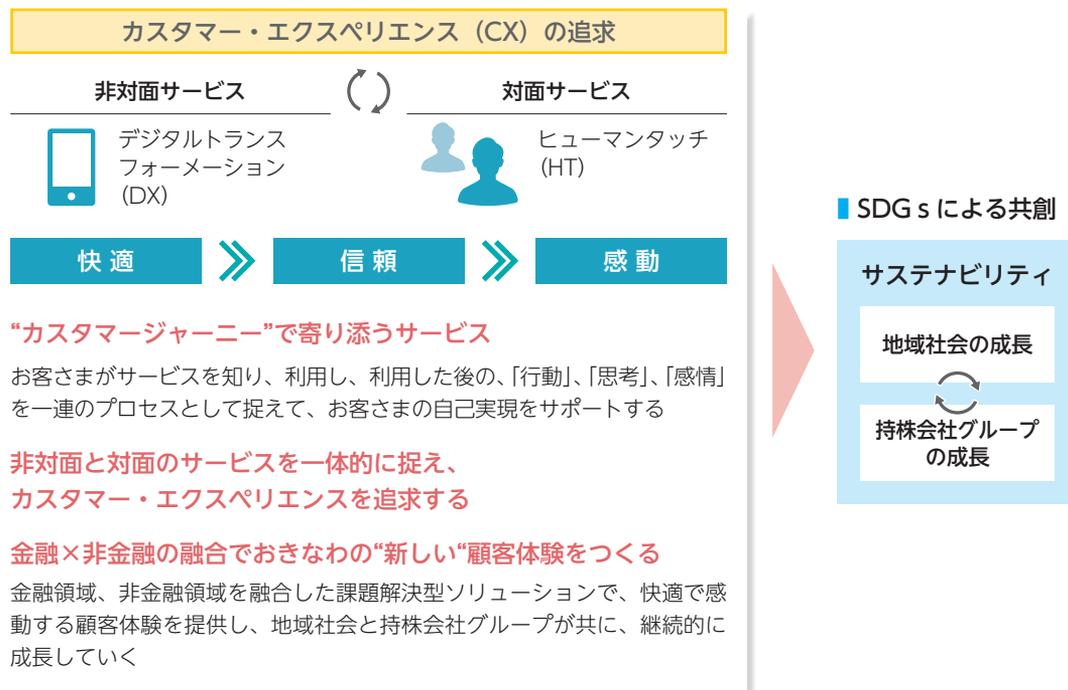
持株会社設立後に、グループ内の連携やシナジーの更なる強化等の観点から、当行の連結子会社である、「おきぎんリース」、「おきぎんJCB」、「おきぎん証券」、「おきぎんSPO」について、完全子会社としたうえで、当行が保有する全株式を、持株会社に現物配当する方法等を用いて、持株会社の直接出資会社として再編します。



※地域総合商社（仮称）は関係当局の許可を前提としております。

持株会社におけるビジネスモデル（ベース）

- 総合サービスでカスタマー・エクスペリエンスを追求し、地域社会の持続的な成長を牽引する



■ グループ戦略の基本ベース



※デジタルトランスフォーメーションとは、データやデジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること

※ヒューマンタッチとは、機械的な窓口業務を除いた、新たな顧客体験やお客さまの自己実現をサポートする、付加価値の高い対面サービスのこと

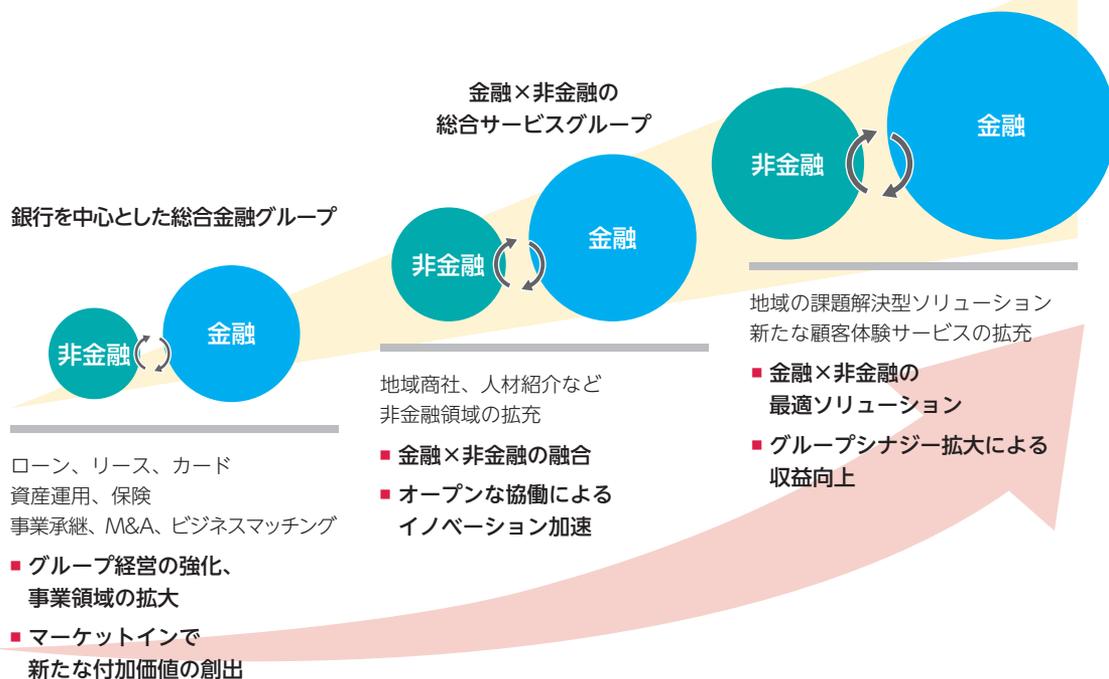
※カスタマージャーニーとは、サービスを利用する人物像を設定し、その行動、思考、感情を分析し、認知から検討、利用へ至るシナリオを時系列で捉える考え方（一連の体験を「旅」に例えている）

持株会社におけるビジネスモデル（新たな価値創造）

環境変化に適応した自己変革により、
地域を牽引する金融をコアとする総合サービスグループへ

グループ経営の強化、事業領域の拡大
グループシナジー拡大による中長期的な企業価値向上

地域社会を牽引する
金融をコアとする
総合サービスグループ



組織能力（Capability）と事業ポートフォリオの再構築

持続可能な競争優位と収益機会を確保

PEOPLE'S BANK

 沖縄銀行